

ロータリー奨学金 第1回報告書
(期間: 2025年9月1日 ~ 2026年1月31日)

新庄 恭大 (Takahiro Shinjo)

1. 総括

マドリードでの MBA 生活が始まり、授業やグループワークを通じて多くの知識や多様な文化を持つメンバーとの相互理解の重要性を学ぶことができています。異なる価値観や背景を尊重しながら意見を交わす経験は、自身の視野を大きく広げると同時に、国際的な環境におけるリーダーシップの在り方について深く考える契機となっています。

2. 学業面での成果

2025年9月8日~2025年12月17日で Term1 の必修授業を受講し、ビジネスにおける基礎知識を学びました。

主なコースは以下となります。

- ENTREPRENEURSHIP
 - 起業に必要な基礎知識および実践的手法を学ぶ科目です。グループワークを通じて新規ビジネスアイデアを構築し、市場ニーズや実現可能性、競争優位性の観点から検証を行います。
- FINANCIAL MARKETS / FINANCIAL REPORTING AND ANALYSIS
 - 金融市場の仕組みおよびアカウンティングの基礎知識を学び、企業の財務状況や経営成績を理解・分析するための基盤を習得します。
- MARKETING MANAGEMENT
 - 実際の企業事例を題材に、マーケティングの基礎理論および実務的な考え方を学びます。
- OPERATIONS MANAGEMENT
 - 様々な業界におけるオペレーションの基本概念を学び、実践的なシミュレーションを通じて業務改善や効率化について理解を深めます。
- STRATEGY
 - 企業事例をもとに、競争環境の分析や意思決定を含む経営戦略の考え方を学びます。
- INNOVATION IN A DIGITAL WORLD
 - 企業のデジタル戦略や最新の AI ツールを通じて、AI の活用可能性について理解を深めます。
- IMPACT SKILLS ACCELELATOR (ISA)
 - リーダーシップやコミュニケーション、自己認識といった非定量的な能力を中心に学び、個人およびチームとしての影響力を高めることを目的とした科目です。

各授業において予習・復習に加え、個人およびグループ課題が課されており、知識のインプットとアウトプットを繰り返すことで、理解の深化と知識の定着、ならびに実践的な経験を積むことができます。



マドリードの中心部に位置する都市型のキャンパスです。

3. 学業以外の生活について

【学校主催イベントへの参加】

IE Business School では、正規のカリキュラムに加え、学生の主体的な学びを支援する多様なイベントが開催されています。クラブ活動や「ラボ」と呼ばれる実践的なビジネス活動など、学修内容を発展させるための機会が豊富に用意されています。私自身も、起業家プログラムや国際ビジネス関連のイベントに参加し、授業内では得られない幅広い知識や実践的な経験を積むことができます。



起業家プログラムイベントの一場面

【クラスメイト】

IE Business School には、52 カ国から約 330 名の学生が集まり、多様な文化的背景を持つ学生同士が日常的に交流しています。その中で、日本の文化やコンテンツに関心を示す学生も多く、日本への関心の高さを実感しています。特に、アニメや漫画といった日本のコンテンツや日本食への関心が高く、マドリッドにある各国のレストランを互いに紹介し合うなど、食を通じた交流も活発に行われています。

さらに、日本についてより深く知ってもらう機会として、日本食レストランで「Japan Night」と題した交流イベントを企画・実施し、国籍を超えた親睦を深めることができました。

【マドリッドの生活】

晴天の日が多く、年間を通じて過ごしやすい環境の中で生活しています。また、アジア系のスーパーマーケットも多く、日本と同様の食生活を維持することができています。一方で、学校外での生活においては英語よりもスペイン語を使用する機会が多く、日常生活に必要な基本的なスペイン語での会話力を身に付けました。現在は、より高度な会話ができるようになることを目標に、日々継続して学習に取り組んでいます。



キャンパス前の風景

4. 今後の活動について

2026年1月7日から3月13日まで、Term 2（必修授業）が実施されます。Term 1で培った基礎知識を土台として、より具体的かつ高度な内容が扱われる予定であり、分析力や実践的な思考力が一層求められる段階に入ります。引き続き予習・復習を徹底し、授業や課題に主体的に取り組むことで、学修成果のさらなる向上を目指してまいります。